

2025年4月

返送先 JGFA事務局

5月26日ま

で返送厳守

JGFA審査員養成/更新
IGFAルールクイズ(A.共通問題)

氏名 _____ 会員No. _____ 所属 _____

住所 〒 _____

MAIL. _____

TEL. _____ FAX. _____

私はこの共通問題のほか、次のジャンルの問題に回答し、審査員資格の更新、あるいは新規取得を申請します。

B. ビッグゲームトローリング C. ルアー、淡水、岸(磯)釣り、沖釣り D. フライ

(上記のいずれかひとつに必ず○をお付けください)

以下の設問は、各ジャンルの道具や仕掛け、釣り方などに関するものです。その内容がIGFAルールに合致し、世界記録や日本記録申請に適当と思われるものには○、不適当と思われるものには×をつけてください。

A 共通問題

回答欄 (○×式)

1. 80lbラインのバッキングラインを200m使用して、先端は20lbラインを30m接続して釣りました。
この場合で釣った新記録申請魚は20lbラインクラスへの申請となる。

2. 普段は50cm程の魚を釣ることが多い為、IGFAが販売している専用メジャーを70cmにカットして
使っていたが、100cmを超えるレングス新記録に該当する魚が釣れたので、不足部分を足して使用し
た。この方法は記録申請に使用して問題ない。

3. 電動モーターが装着されているリールで、記録申請出来る大型のカンパチを手巻きで釣った。
リールにはモーターが付いているが、仕掛けの投入からファイトまで一度も電源を入れていないので
帰港後に計測して記録申請を行った。この方法は記録申請に問題ない。

4. A氏がキャストした置き竿に大きなアタリが出たが、仕掛けを投入したA氏がたまたま不在だった為、
同行していたB氏がフッキングして、戻ってきたA氏に渡した。記録申請に値するコイを釣ったので、
JGFA会員であるA氏は、このコイを記録申請できる。

5. 狙っていた魚が至近距離へ接近してきたので、急ぎルアーを振り込んで魚をストライクさせた。
リーダー部はロッドティップから出でていない距離でのストライクだったのでリーダーでファイトして
魚を取り込んだ。この魚を記録申請しても問題ない。



2025年4月

返送先 JGFA事務局 FAX: 03-6280-3952

MAIL: japan@jgfa.or.jp

JGFA審査員養成/更新
IGFAルールクイズ(B. ビッグゲームトローリング)

氏名_____

問題_____

回答欄 (○×式)

6. リーダーマンがようやくリーダーを掴んだもののギャフが届かない。ギャフマンはフライングギャフを投げて魚体に引っ掛け取り込んだ。フライングギャフは名前の通り投げて使用して構わない。

7. 効果的に魚を寄せるために、ボートの後ろから鰯のミンチを撒きながらトローリングを行った。この方法はIGFAルールとしても適切である。

8. カジキがヒットし、ラインが引き出された。ラインが引き出されている間はファイトしても無駄なので、ラインの出が止まってからロッドホルダーから竿を抜き、チェアに座りファイトした。この方法は、IGFAルールでも認められている。

9. 時化の中、ボートの揺れがきつく安全のために片手をボートの舷側に付き、ロッドバットを舷側に付けてファイトしたが、IGFAルール違反にはならない。

10. カジキのランディングに際し、ギャフを用意し忘れた事に気が付いた。咄嗟の機転で首に掛けていたタオルを水に濡らしてビルに巻き付け、引っ張り上げた。魚体に傷がつかないこともメリットになるので、IGFAルールとしても適切である。

別に共通問題の1.~5.があります。そちらにも回答し、この回答とあわせてご提出ください。

2025年4月

返送先 JGFA事務局

FAX : 03-6280-3952

MAIL : japan@jgfa.or.jp

5月26日まで

返送厳守

JGFA審査員養成/更新

IGFAルールクイズ(C. ルアー、淡水、岸(磯)釣り、沖釣り)

氏名_____

問題題_____

回答欄 (○×式)

6. 魚とファイト中、不意に体勢を崩してしまいロッドが半分に折れてしまったが、折れてしまつたことにより、ポンピングが楽になり早く魚を取り込むことが出来た。この魚は、記録申請に適しているか。
7. 仲間と数人で船に乗り、活きた魚を泳がせて釣りをした。隣の仲間とダブルヒットの状態となりファイト。大きな魚を取り込むことが出来たが、隣の仲間のフックも飲み込んでいた。この魚は、記録申請ができるか。
8. 市販品のタイラバを使用するにあたり、フック配列がIGFAルールに適していない製品もあるため、自分でシングルフックを一本にして作り直した。このタイラバを使用した場合、記録申請はできるか。
9. 四国のとある河口付近の海でスズキ釣りをしていたが、大型のアカメがヒット。無事に取り込み計測すると従来の記録を上回る大きさだった。使用したリーダー長は3mだったが、海で釣ったので、記録申請をしても問題ない。
10. 流れの強い河川でシロザケ釣りをしていた。狙い通り記録級の大型をヒットさせることができたが、魚に勢いよく下流へ走られてしまった。そのまま自分は動けず耐えていると、10m程下流で釣りをしていた友人がネットで取り込んでくれたので、記録申請をした。

別に共通問題の1.~5.があります。そちらにも回答し、この回答とあわせてご提出ください。



2025年4月

返送先 JGFA事務局 FAX: 03-6280-3952

MAIL: japan@jgfa.or.jp

JGFA審査員養成/更新
IGFAルールクイズ(D. フライフィッシング)

氏名_____

問題_____

回答欄 (○×式)

6. ソルトウォーターのシイラ釣りで、ドロッパーは2本まで使うことができる。

7. ショックティペットの長さは、両端にあるノットの内側を厳密に計測する。

8. フライフィッシングでは、冷凍のワカサギやキビナゴ、イワシミンチなどをチャム(寄せ餌)として使うことはできない。

9. 先端強度が8ポンドと表記してある市販のテーパーリーダーは、4kgのティペットクラスにおける記録申請に問題なく使うことができる。

10. 重いシンキングラインを、キャストすることなくボートから真下に沈め、ラインを送り出して所定の層にフライを届けたあとにリトリーブを開始するような釣り方は禁止されている。